

黒斑山山行記録



車坂峠入口(1,973m)



トミーの頭



蛇骨岳

目的地	黒斑山	期 日	平成21年7月11日(土)・曇天
山人	笠原正雄、伴場ちづ子、増田	特 記	伊香保の会合の前に歩く。

地点名	時刻	記 事
与板発	午前2:45	これほど早朝に出なくとも良いのだが、兩人とも午前中しか時間が無いとのことで出発。高速道週末割引で小諸ICまで1,000円。
アサマ2000スキーパーク P	5:55~6:10	Pまで全舗装道。山の九十九折れでキジを一羽見た。走行距離226km。ここで2人と合流し、車坂峠の標柱から、表、裏、中との3つのうち中コースを進む。やや暗い感じのする曇空で気温もヒンヤリとしている。人影も殆ど無い。
裏コース分岐	6:20	左に裏コース。直進して中コース。しばらくして樹林の中の掘られた登路に行く。途中より虫がやや煩わしい。
表コースと合流	7:00	右手の樹林が切れて崖となっている。ガスで展望は無く山の様子が分からない。右後ろから表コースが合流している。ゴロ登りに雑木で階段が施してある。鉄分を含んでいるのであろうか赤い石が多い。
トミーの頭	7:05~7:20	ゴツゴツとした溶岩のピーク。ここから浅間山が良く見えるということだが、全く展望なし、前方は崖になっているようで、風もあり、あまり先を覗くことが出来ない。山頂方向から単独男がやって来た。本日唯一の出会いである。ここから浅間山火口原方面に下りると良い周回コースがあるというが、何にも見えなくて、気が入らない。とりあえず山頂を踏みに行く。カップを着るほどでは無いが霧雨模様となる。更に薄暗い樹林に進むが、露がズボン濡らす。
黒斑山	7:30	2,404m。手前に火山活動監視カメラの鉄塔がある。大きなスピーカーも併設されている。右は切れ落ちているようだが、左の斜面は針葉樹林となっている。木々は全体に細く、倒木が目立つ。
蛇骨岳	8:00~8:20	2,366m。ここも溶岩が固まったような岩場だ。この先に仙人岳に続く稜線コースがあるというが、やはり気が乗らない。裏コースを下ることにする。大きな岩の基に腰を下ろせば幾分風を避けることが出来る。少し食べる。増田さんよりコーヒーをご馳走になる。
裏コース下山へ		このコースはあまり人が入らないと云う。けれども道はしっかりしている。樹林から始まるが、とにかく細かい虫が霧のように飛んでいて、襟元から背中に入ってくる。口を開けていたならその中に入ってしまおうようだ。
中コースと合流	9:20	虫から開放されて、途中から笹原の疎林となり、解放的な道となる。地面のオオバコが踏まれていない。やはり歩かれていないようだ。ここで朝直進した分岐に戻る。時折薄日が差した。
駐車地点着	9:30	薄日は厚い雲の切れ間からのもので、雲の流れも速い。一時はもう少し上に留まっていれば展望が利いたかも知れないとも思ったが、やはりそれは無理だったようだ。帰り支度を終え、兩人と別れて伊香保へと向かう。
伊香保仁泉亭	午後3:00着	小諸ICに入り、佐久平ハイウェイオアシスで湯を沸かしカップラーメンとおにぎりで昼食とした。一方、榛名でもう一山とも考えられたが、やめにして、眠気防止のため、PA毎に立ち寄り、トウモロコシを買い、花を買いながら進んだ。また、何年も足を運んでいながら訪れることの無かった水沢観音を参詣し、名物というどんも土産に買った。

ここ数年は伊香保の会合の前日に、そちら方面の山に登ってから宿に向かっていった。山を物色していた数日前に伴場さんから連絡が入り、山の選定も含めて彼女に連れて行ってもらうことにした。全くのツレツレテェー山行であった。本年4月4日にやはり彼女から水ノ塔・籠ノ登山を案内してもらったが、その時は年初の浅間山火山活動のため入山規制がかかっていた。その数日後に規制が解除されたという経緯がある。さほど長いコースではなく、人気の山らしい。いつか再訪しても良いかも知れない。